

せいめい小委員会報告

2026/3/5

光赤天連総会（日本天文学会・春季年会）

せいめい望遠鏡の共同利用・共同研究及び研究交流等に関する専門的事項について審議する

メンバー（敬称略 ※ 委員 ▲オブザーバー）～2025/9/30

岩室史英(京大：委員長)※ 伊藤洋一(兵庫県立大)※ 小西美穂子(大分大)※ 志達めぐみ(愛媛大)※ 田中雅臣(東北大)※ 鳥羽 儀樹(立命館大)※ 太田耕司(京大) 田實晃人(国立天文台) 前原裕之(国立天文台)▲ 泉浦秀行(国立天文台)▲

2026/10/1～ ↓

田中雅臣(東北大：委員長)※ 伊藤洋一(兵庫県立大)※ 志達めぐみ(愛媛大)※ 鳥羽 儀樹(立命館大)※ 新納悠(東大)※ 増田賢人(大阪大)※ 野上大作(京大) 田實晃人(国立天文台) 前原裕之(国立天文台)▲ 泉浦秀行(国立天文台)▲

■ 2025/10/2

- 新委員への引き継ぎ事項の確認（過去の活動紹介。年二回のTACが主業務）
- SAC議事録のウェブ公開（2025.6～。TAC部分は非公開）
- 新観測装置（共同利用に限らず）の導入手続きについて（ユーザーとの調整会議を予定）
- 新委員長の選出（⇒田中氏）
- 今後の委員会の進め方についての確認

■ 2025/12/8

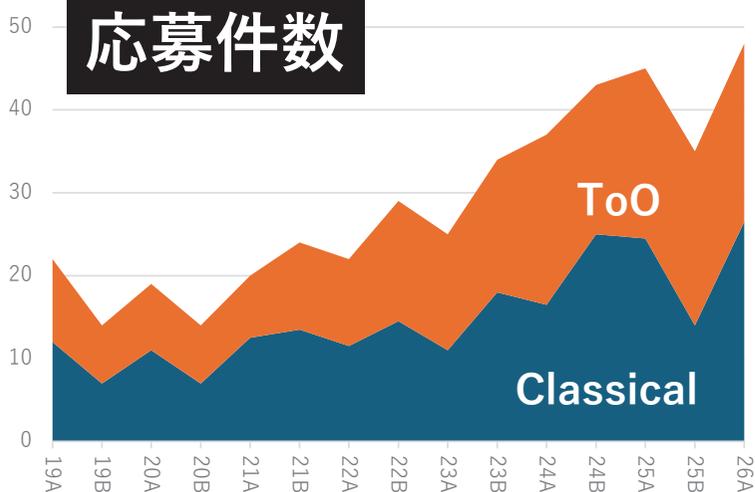
- 観測提案公募に関する議論（クラシカルがとくに高倍率）
最大要求夜数・大型プログラム：即座には設定しない（すばる等で実行不可能なプログラムを汲み取る。調査の必要性）
- キュー観測について
0.25夜⇒0.125夜単位の割り付けとなっていて限界。キューの実現で改善される。
- 新規装置受入手順について
2025/11/7に「せいめい望遠鏡の観測装置新規持ち込みに関する検討会」を開催した
岡山分室・京都大学で受け入れプロセスの素案をまとめ、今後せいめいSACに相談する。

観測プロポーザルの推移

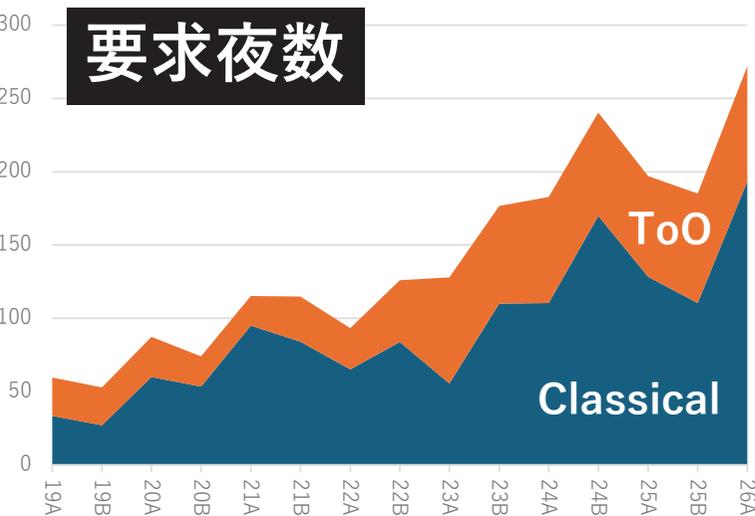
せいめい小委員会で審査・採択

(すばるSACの下部組織)

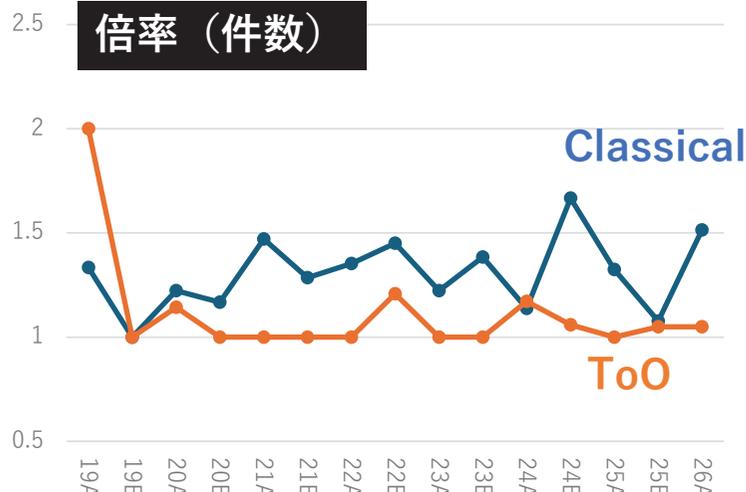
応募件数



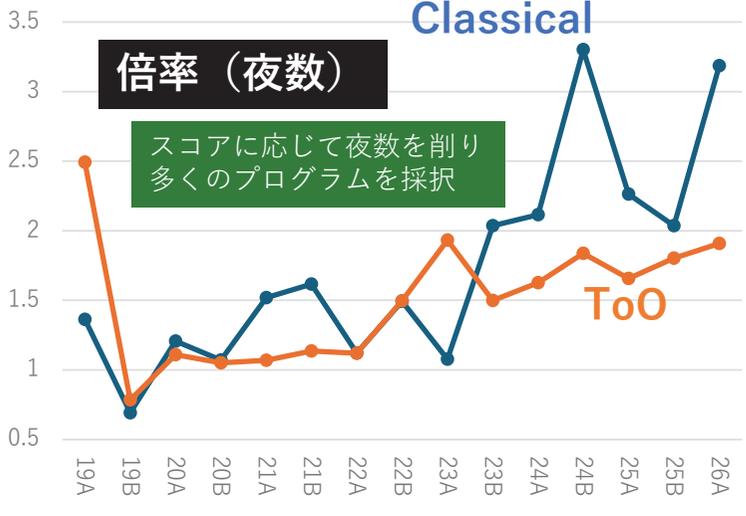
要求夜数



倍率 (件数)



倍率 (夜数)



- 新装置の公開によって確実にユーザー数が増加
- GAOES-RVの公開で一時的に競争率(夜数)が3倍超
→その後落ち着く(〜2倍)
→また3倍超(26A)
- GAOES-RV以降でクラシカル一件あたりの要求夜数が増大
- ToOはほぼ全採択(レア事象・おためし等)
- 夜数を評価に応じて削減して、できるだけ多くの課題へ
- 割り当て時間が1/8夜単位まで細分化されている
- ToOの補填も余裕が減少